

香川大学 体験型インターンシップの概要

対 象 学 部	教育学部、法学部、経済学部、医学部(主に臨床心理学科)、創造工学部、農学部
対 象 学 生	学部3、4年生(一部大学院生)
特 徴	単位認定型のインターンシップのため、大学が行う事前指導等を受講した学生が実習に参加します。本インターンシップは三省合意で改訂された「タイプ3:汎用的能力・専門活用型インターンシップ」として実施します。また、単位認定対象外の学生が参加する場合もございます。
実施時間数	単位認定のために原則、次の時間数が必要です。 5日間(7時間/日 × 5日=35時間程度) 創造工学部を指定する場合は可能であれば 2週間(7時間/日 × 10日=70時間)
内 容	実習内容について具体的には受入企業・機関にお任せいたしますが、受入企業・機関の業務に関連する実習内容で、<u>参加期間の半分以上の日数を職場での就業体験に充ててください。</u> (テレワークが常態化している場合、テレワークを含む) (実施内容一例) ※別紙の実習内容例についてもご参照下さい。 ・会社概要・業務等説明、見学、インターンシップ実習上の注意等 ・業務実習・企画立案等の就業体験(実務体験) ・成果報告会、若手社員との意見交換会 等 【インターンシップの目的】 学生が実社会で実習・研修することにより、現代社会の実態と課題に目を向け、社会認識を深めるとともに、その体験を職業選択や職業意識の育成に役立てることを目的とする。
日 程	①登録票の提出(受入機関) <u>2023年5月2日(火)まで</u> (この日以降でも結構ですが、学生募集が遅くなり参加者が集まらない可能性があります。) ②登録票の整理、実習内容の調整(大学) 5月上旬まで ③参加学生の募集、人数調整(大学) 5月中旬 ～ 6月中旬 ④応募書類の作成、受入企業・機関への送付(大学) 6月下旬 ⑤受入企業・機関での受入可否の決定(受入機関) 7月中旬まで ⑥覚書の締結(受入機関・大学) 7月下旬 ⑦インターンシップの実施(受入機関) 原則として学生の夏季休業中 (8月10日から9月30日まで)
そ の 他	・受入企業・機関におかれましては、インターンシップ期間中に学生が作成する研修日誌へ所見の記入、評価などをお願いします。 ・就業体験を行うにあたり、職場の社員による学生の指導、インターンシップ終了後のフィードバックをお願いします。 ・参加する学生は、傷害保険及び賠償責任保険に加入しています。 ・学生の応募状況により、学生を派遣できない場合がありますのでご了承ください。

別紙

○業種別インターンシップ実習内容例

業種	実習内容
卸売・小売業	ショップスタッフコース(コンテンツ体験、提案練習→実践 ※コツも伝授) 一般事務コース(売り上げ計算、リクルート活動などの実務体験) 法人営業コース(法人ソリューション体験→実践※クライアント先へ同行訪問)
	担当者より会社説明(オリエンテーション)、店舗ショールームにて接客応対体験、 (状況により)営業スタッフ同行(お客様訪問等)
サービス業	当社農園での作業実習を中心に、6次産業企業の業務内容研修や実務に直結する研修、参加者による課題解決実習等を行う。 初日：AM 事業説明・講義・ソムリエ講座 PM 施設見学・農園見学 2日目～4日目：農園での作業実習(管理監督者が付き添い、随時指導しながら進める) 最終日：AM 実務関連研修(座学) PM 意見交換会・課題解決実習
	各事業部にて主に実際の業務内容の体験 ※事前に希望の事業部を選択頂きその事業部での実習予定 ・ホテル事業部でのレストラン、フロントスタッフなどの様々なセクションでの業務サポート・公民連携でのイベント運営サポート(準備・設営・運営など)
不動産・物品賃貸業	賃貸物件提案体験、一眼レフデジカメによる物件写真撮影レクチャー・体験、 リノベーション部屋づくりワーク、マンスリーマンション部屋づくりグループワーク、うどん県店舗取材同行など
金融・保険業	・業界研究(保険代理店と保険会社の役割・違いなど) ・リスクマネジメント研修・営業同行にて取引先訪問・研修報告会
建設業	建設業及び建設機械の役割と仕組みを現場体験をととして学習する 内容：机上学習(土木工事入札制度、現場施工管理、建設業の役割、建設機械について) 体験学習(施工中の現場・作業船舶見学および軽作業体験)
	会社説明、グループ会社見学現場見学、体験ドローン・3次元測量体験 社員との座談会 ほか
製造業	(開発)弊社の工場を見学してもらった後に、開発部のメンバーと一緒に新商品の試作を行なってもらいます。その後、自分で考えた新商品を試作して、最終日には試食会を行ないます。(品質管理)主な成分分析や微生物測定を体験して貰います。
	・会社概要、業務概要説明 ・機械加工、溶接作業、塗装作業の見学及び説明・製造実習
官公庁、地方自治体	広報、産業振興、移住・定住推進、建築・土木監理、公共施設管理など、地方公務員の仕事を体験する。
	オフィス、造船所で建造中の船舶及び港で停泊中の外国船舶において、安全規制に係る検査業務や船の大きさ(トン数)を測る業務を体験する。海事産業行政については、四国の造船・船用工業の振興のために行われている施策を学ぶとともに、造船所・舶用品製造事業所の見学等を通じ、政策の企画立案を体験する。

○学生への周知例(学生ポータルサイト等で周知します)

企業等名	業種	企業の業務内容	実習の内容	人数	実習時期	実習日数	実習地	準備物・服装等	交通手段	学部指定	選考方法	必要書類	企業への申込期限	キャリアセンター提出期限	留学生受入	備考	企業ページ
A株式会社	製造業	製造販売	実務体験	2	8/23～8/27	5	小豆島町	筆記用具	各自	農学部	書類	ES	7月30日	6月18日	不可		https://www.kagawa-u.ac.jp/
B建設(理系)	建設業	海洋土木、陸上土木	体験学習	2～3	8/16～9/30	5	高松市	平服、筆記用具等	自動車、バイク、自転車	創工(建築1～2名、機械1名)	書類	ES	7月20日	6月18日	不可		
B建設(文系)	建設業	事務	体験学習	2～3	8/16～9/30	5	高松市	平服、筆記用具等	自動車、バイク、自転車	法、経	書類	ES	7月20日	6月18日	不可		
C市役所	サービス業	建築の設計・監理	設計図作成	1	8/16～8/31 (上記期間で要相談)	10	丸亀市	自由	自由	創工(建築)	書類	ES	—	6月18日	可		
D広告	サービス業	総合広告業	営業体験	2～3	9/6～9/10	5	高松市	スーツ	公共交通機関	なし	書類	ES	7月30日	6月18日	不可		